

2014年2月13日

報道関係各位

三菱地所株式会社

**生物多様性に配慮した施設評価「いきもの共生事業所認証[都市・SC版]」
「(仮称) 大手町1-1計画」ほか4物件が取得**

三菱地所株式会社は、「(仮称) 大手町1-1計画」、「大名古屋ビルヂング」、「大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業」、「MARK IS みなとみらい」の4物件が、このたび、生物多様性保全に配慮したオフィスビル・ショッピングモールとして一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会 (ABINC) の「いきもの共生事業所認証 (ABINC認証) [都市・SC版]」を取得しましたのでお知らせします。

本認証は、自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に作られたもので、今回の認証が1回目となります。一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) の「いきもの共生事業所推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどに取り組むオフィスビルや商業施設を、ABINCが第三者的に評価・認証しています。



ABINC

Association for Business Innovation
in harmony with Nature and Community

▲ ABINC 認証書ロゴ



▲ 「(仮称) 大手町1-1計画」環境共生型コミュニティ広場

なお、本認証を取得した当社の4物件については以下の点が評価されたものと考えます。

- 「(仮称) 大手町1-1計画」
皇居および外苑濠の水と緑と調和、地域在来の植物を多く植えた、エリアのコミュニティ形成の核となる緑量豊かな環境共生型コミュニティ広場 (約 2,800 m²) を整備すること。
- 「大名古屋ビルヂング」
敷地外周等に緑の空間を創出。低層屋上部に緑豊かな庭園 (約 2,000 m²) を整備すること。
- 「大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業」
敷地外の歩行者専用道路の植栽を豊かにすること。
- 「MARK IS みなとみらい」
屋上果樹園に県内で育種された柑橘類を多数植え、お客様参加型の生きものモニタリング調査や収穫体験イベントなども行うこと。

三菱地所は、今後も生物多様性の保全と持続可能な利用のため、環境に配慮した街づくりに取り組んでまいります。

～各物件の概要～

1. (仮称) 大手町1-1計画



【計画概要】

□A棟

所在地 東京都千代田区大手町一丁目1番2号 (住居表示)
主要用途 事務所・店舗・駐車場等
敷地面積 約6,900㎡
延床面積 約108,000㎡
階数 地下5階、地上22階、塔屋2階
新築工期 2013年2月20日～2015年11月中旬 (予定)

□B棟

所在地 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 (住居表示)
主要用途 事務所・店舗・サービスアパートメント・地域冷暖房・駐車場等
敷地面積 約9,300㎡
延床面積 約147,000㎡
階数 地下5階、地上29階、塔屋2階
新築工期 2013年度～2016年度 (予定)

2. 大名古屋ビルヂング



【計画概要】

所在地 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目27番地ほか
主要用途 事務所・店舗・地域冷暖房・駐車場・駐輪場等
敷地面積 9,155.56㎡
延床面積 約146,698.04㎡
階数 地下4階、地上34階、塔屋1階
新築工期 2012年9月18日～2015年10月末 (予定、解体工事含む)

3. 大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業



【計画概要】

所在地	東京都千代田区大手町一丁目5番1他（地番）
主要用途	事務所・宿泊施設・店舗・駐車場・地域冷暖房等
敷地面積	約11,200㎡
延床面積	約205,000㎡
階数	A棟（事務所棟）：地下4階、地上31階 B棟（宿泊施設棟）：地下3階、地上18階
新築工期	2014年度～2016年度（予定）

4. MARK IS みなとみらい



【計画概要】

所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目5番1号（34街区）
用途	店舗・駐車場
敷地面積	18,046.56㎡
延床面積	116,189.73㎡
店舗面積	約43,000㎡
階数	地下4階、地上6階、塔屋1階
駐車台数	900台
運営管理	三菱地所リアルマネジメント株式会社
開業時期	2013年6月

「いきもの共生事業所認証（ABINC認証）」の概要

- 主 催：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会
- 認証基準：都市部に位置する、ビル・ショッピングセンターなどの企業、団体について、一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）の「いきもの共生事業所推進ガイドライン」土地利用通信簿[都市・SC版]に基づき、以下の項目について、持続可能な土地利用を評価・認証する。
 - 生物多様性に貢献する環境づくり
 - 生物多様性に配慮した維持管理
 - ステークホルダーとのコミュニケーション
 - 地域の希少種の保全への取組み

※「いきもの共生事業所推進ガイドライン」とは？

一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）の中にある「持続的土地利用ワーキング」のメンバーが、東北大学、山形大学の研究者と協働し開発したガイドライン。生物多様性に配慮した土地利用の考え方や処方箋を示し、取り組みの成果を可視化することで、生物多様性に配慮した土地利用を促進することを目指します。

※いきもの共生事業所は、JBIBの登録商標です。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

【団体概要】

- 名 称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会
[英文名：Association for Business Initiative in harmony with Nature and Community = 略称 ABINC(エイビंक)]
- 設 立：2013年12月25日
- 目 的：「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生するしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」することを目的として設立。
- 連絡先：info@abinc.or.jp
- ホームページ：http://www.abinc.or.jp/
- 設立発起人：中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授） ※代表理事に就任
亀山 章（公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授）
森本幸裕（京都学園大学教授、京都大学名誉教授）
黒田大三郎（公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー）
梶谷 修（一般社団法人日本環境アセスメント協会会長）
大内政男（株式会社三菱地所設計代表取締役社長）
片岡明人（住友林業株式会社常務執行役員・山林環境本部長）
川廷昌弘（一般社団法人CEPAジャパン代表）
足立直樹（一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長）
原口 真（一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問）